

ヒメシヤガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray	準絶滅危惧
(環境省:準絶滅危惧)		アヤメ科
選定理由	生育地と個体数が急速に減少しており、更に減少すれば個体群の維持が危うくなり、絶滅する可能性が出てくる。	写真(高橋弘)
形態の特徴	日本にあるアヤメ属では最も華奢で、葉も花茎も細い。葉は長さ20-40cm、幅5-15mm。花茎は高さ25-35cm。花被は全体的に淡青紫色。外花被片の扁平部上面の中心部に黄色の斑紋があり、その下にやや濃い青紫色の縞模様がある。雌蕊の花柱の上部は3枚の花被片状になり、それぞれの先は細く裂けて房状になる。	
生態的特徴	中湿地や湿った岩場に生育する。花期は5-6月。	
分布状況	日本に固有で、北海道南西部から九州にかけて分布する。岐阜県では県北の3地域、県南の中部と西北部の2地域に見られる。標高は800m以下である。	
減少要因	開発による生育地の破壊と、山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と、採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘